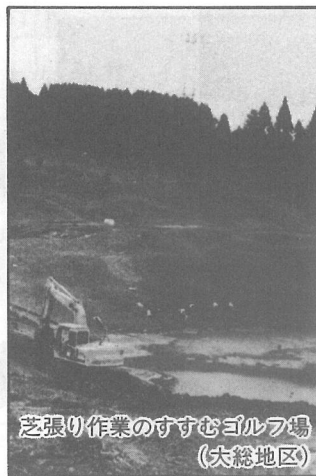


平成2年夏実施

—横芝小体育館アスベスト撤去—

問 今夏予定していた横小体育館のアスベスト撤去工事が、空港公園の補助金が見込めないことを理由に遅れると聞いた。子どもたちの健康を守るためのものであり、補助金をあてにせず、早期に行うべきではないか。

答 今年の夏休みに行う予定の工事ができなくなったことは事実だが、交渉を重ねた結果、平成2年度に補助を受けられる見込みになった。館



芝張り作業のすすむゴルフ場 (大総地区)

使用が予想される会社に照会したところ、4社が使用していることがわかった。現在のところ汚染は発生していないが、県・町とも定期的な調査を実施していく。

内に浮遊するアスベストは、国の定める基準の千分の一から二千五百分の一と極めて少ないものであるが、工事を行うまでの間は、定期的に検査をし、万全を期していく。

公共施設内の禁煙

問 たばこの煙が他人に及ぼす影響が叫ばれている。公共施設内における喫煙タイム・禁煙エリアの設置を考えているか。

答 健康問題に配慮し、禁煙措置や別個に喫煙所を設けている市町村もある。

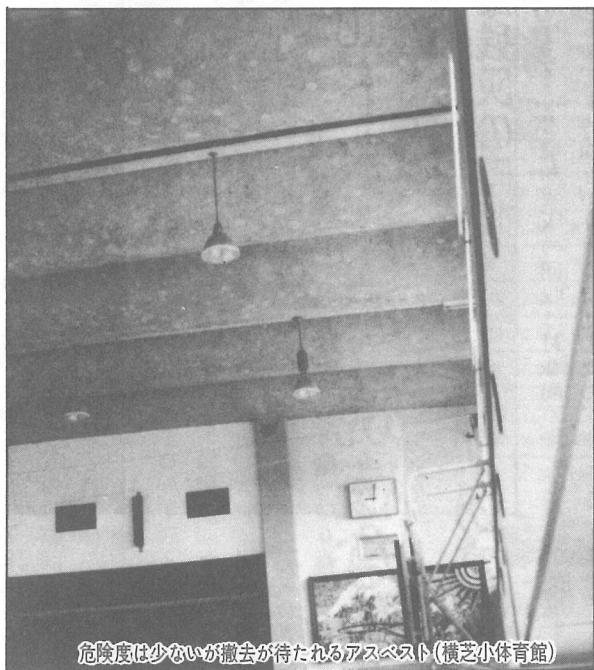
施設内を禁煙にすることは容易だが、守られなければ意味がないので、利用する方々とも充分話し合いながら検討していきたい。

非核平和

問 核の恐ろしさが叫ばれている昨今、わが町は「非核平和宣言」の看板は設置したものの、宣言文は公表していない。宣言文を公表し、非核平和を日常生活に生かすべきではないか。

答 唯一の被爆国である日本において、核の惨禍を繰り返してはならぬと訴えることは当然である。

これまで、役場敷地に看板を設置したほか広報活動も実施している。8月は核が投下された月でもあるので、広報誌による宣言文の掲載をも含めて、より効果的な広報活動を予定している。



危険度は少ないが撤去が待たれるアスベスト(横芝小体育館)



愛煙家のみなさん、やさしい心づかいを